

オーダーメイド型の BESTソリューションを



トップインタビュー



株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご支援、ご協力を賜り、有り難く厚く御礼申し上げます。
さて、第131期の第2四半期決算が終了いたしましたので、ここにご報告申し上げます。

2026年8月

代表取締役社長 **峯島 一郎**

Q 第2四半期の業績について お聞かせください

A 新規設備投資の効果が浸透し、業績は堅調に伸びていました

当社グループは、内外の環境変化に的確に対応しながら、さらなる成長を果たしていくために新中期経営計画（2022－2026）の具体的各施策を展開してまいりました。物流事業における具体的施策としては、既存倉庫の稼働率は安定的かつ高い水準にて推移しており、各種経費の削減にも取り組んできたほか、保管料や荷役料の料金適正化を進めており、営業収益の確保に努めてまいりました。また、きめ細かなサービスを提供しながら、既存顧客との取引拡大や新規顧客の獲得に努めてまいりました。このほか、埼玉県所沢市の新規倉庫ならびに千葉県八街市の新規文書保管センターも順調に稼働しており、将来の収益力増強に向けて事業基盤の増強も図られつつあります。不動産事業における具体的施策としては、賃貸マンションや賃貸オフィスビル等が安定的に稼働

しており、不動産賃貸料収益の増加に努めてまいりました。また、2025年に取得した東京23区内の賃貸マンション2棟も安定稼働しており、収益基盤強化を図ってまいりました。

この結果、物流事業ならびに不動産事業の各収入が前年同期比で増加しており、売上高は2,525百万円（前年同期比2.9%増）、営業利益は320百万円（同15.5%増）、経常利益は332百万円（同38.4%増）、親会社株主に帰属する中間純利益は265百万円（同66.1%増）となりました。なお、主要指標のEBITDA（減価償却前営業利益）は606百万円（同8.4%増）となりました。

Q 今後の事業見通しや計画についてお聞かせください

A 通期業績予想を上方修正いたしました

今後の経済動向につきましては、各種政策の効果等により景気は緩やかに回復傾向が続くことが期待されるものの、米国の通商政策動向等の影響から内外経済の動向は不透明感がぬぐえない状況にあり

ます。

このような状況の下、当社グループは、新中期経営計画（2022－2026）の施策を着実に遂行しながら事業環境の大幅な変化に的確に対応しながら、物流事業セグメントならびに不動産事業セグメントにおける収益基盤の増強を図りつつ、企業価値の向上に努めてまいります。また、新規設備投資により将来の収益基盤が強化されつつあるほか、料金適正化も着実に進捗しており、業績改善が見込まれております。

2026年11月期の業績予想につきまして、売上高、各種利益、主要指標のEBITDA（減価償却前営業利益）のいずれも前年同期比プラスとする計画としているほか、上半期の業績結果をふまえて通期予想を上方修正することとしました。

利益還元にも引き続き取り組み方針としており、2026年11月期の配当につきましては、期末配当金を1株につき28円とし、配当予想を引き上げております。

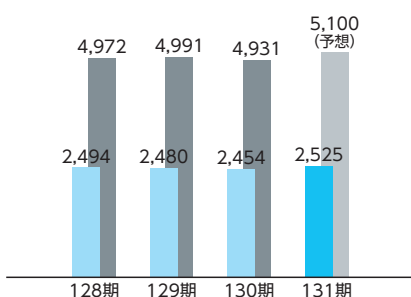
株主の皆様におかれましては、引き続きなお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

業績ハイライト

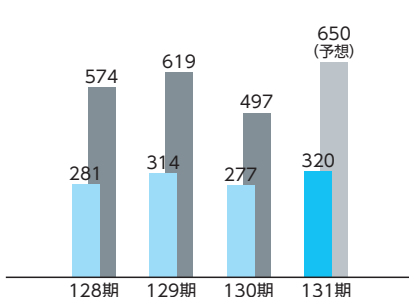
- POINT 1** 料金適正化交渉の進捗や設備投資効果により、営業利益が増加しました。
- POINT 2** 自己資本比率60%超の水準が確保され、良好な財務体質が維持されております。
- POINT 3** 連続増配を予定しており、利益還元にも積極的に取り組みます。

▶ 詳細な財務情報は <https://www.maru8.co.jp/ir.html>

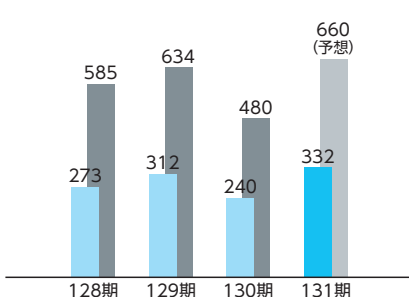
売上高
2,525 百万円
■ 第2四半期 ■ 通期 (百万円)



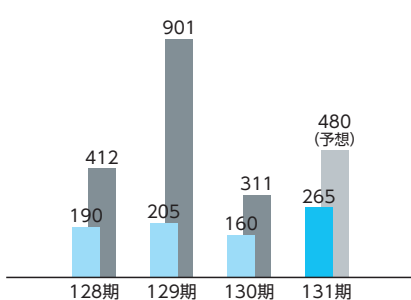
営業利益
320 百万円
■ 第2四半期 ■ 通期 (百万円)



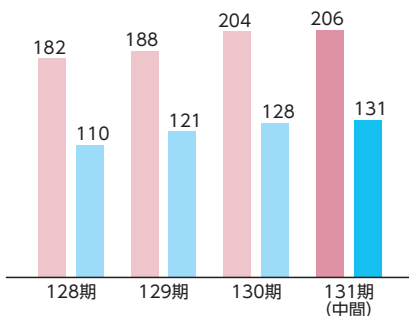
経常利益
332 百万円
■ 第2四半期 ■ 通期 (百万円)



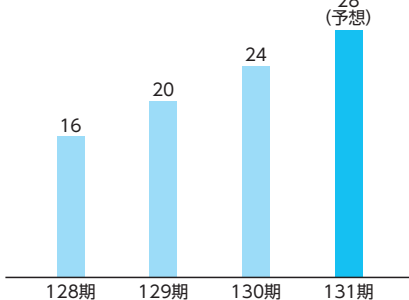
親会社株主に帰属する中間（当期）純利益
265 百万円
■ 第2四半期 ■ 通期 (百万円)



総資産・純資産
206 億円・**131** 億円
■ 総資産 ■ 純資産 (億円)



株主還元（1株当たりの配当金推移）
28 円
POINT 3 (円)



セグメント別概況



物流事業

売上高 **2,175** 百万円 セグメント利益 **347** 百万円

物流事業では、保管料収入をはじめ各収入が増加したことにより売上高は前年同期比39百万円増の2,175百万円となり、セグメント利益は既存設備の修繕実施に伴い前年同期比25百万円減の347百万円となりました。



不動産事業

売上高 **350** 百万円 セグメント利益 **174** 百万円

不動産事業では、前年同期に取得した賃貸マンションが安定稼働したことにより、売上高は前年同期比32百万円増の350百万円となり、セグメント利益は前年同期比23百万円増の174百万円となりました。

文書保管事業の進化 ～AIが創造する付加価値～

当社は、法人・企業のお客様の重要書類をお預かりする文書保管事業の拡充に取り組んでまいりました。高度なセキュリティ機能を備えた専用の文書保管センターでの保管体制はもとより、最近では「電子データ化」「AI機能によるデータ活用」といった事業の進化を進めております。



文書保管センター

従来の文書保管事業は、紙の書類をお預かりする『紙原本の保管』が中心でした。しかし、各企業のペーパーレス化の進展や電子帳簿保存法の改正等を背景として、電子データ化のニーズが高まったことを受け、2023年以降、保管書類をスキャンし、書類を『電子データ化』するサービスを開始しております。さらに2025年には、IT企業と提携し、『AI機能を駆使したデータ活用・管理サービスの提供』を開始いたしました。

AI機能を活用したデータ管理サービスでは、膨大な文書から必要な情報を素早く探し出せることに加えて、各データの分析・要約・集計等にも的確に対応でき、お客様の多様なニーズ・課題に対してソリューションを提供することにより、業務効率化や生産性向上に貢献しております。

【企業ニーズに応える活用事例】

- 契約書類の審査・法務チェック
- アンケートの傾向分析・管理
- 活動記録・日誌の集計・分析 etc.

今後とも、AIを活用した新サービスを成長領域として位置付けながら、文書保管事業のみならず物流事業全体のさらなる進化・高度化を目指してまいります。



「保管」から「活用」へ—— 文書保管事業の進化

■コーポレートサイト

当社のコーポレートサイトでは、株主・投資家の皆様に対し、最新の情報を紹介しております。

<https://www.maru8.co.jp>

丸八倉庫

検索



■個人向けトランクルームサービス

当社では個人向けの宅配型トランクルームサービスを提供しております。

<https://www.webtrunk.co.jp>

ウェブトランク

検索



会社の概況

会社概要

商 号 丸八倉庫株式会社
英 文 Maruhachi Warehouse Company, Limited
設 立 1934年3月
資 本 金 25億2,760万円
従業員数 45名（2026年5月31日現在）

役 員

代表取締役社長	峯 島 一 郎
専 務 取 締 役	宮 沢 浩 元
常 務 取 締 役	谷 健 次
取 締 役	山 口 正 志
取 締 役	佐 藤 久 和
常 勤 監 査 役	渡 邊 勝 之
監 査 役	三 木 康 史
監 査 役	佐 藤 昌 昭
執 行 役 員	佐 々 木 学
執 行 役 員	楠 田 真 一 郎

事業所

■ 当社の主要な事業所

高橋営業所	東京都江東区	埼玉営業所	埼玉県所沢市
若洲営業所	東京都江東区	草加営業所	埼玉県草加市
葛西営業所	東京都江戸川区	八街営業所	千葉県八街市
板橋営業所	東京都板橋区	仙台営業所	宮城県仙台市

■ 子会社の事業所

東北丸八運輸株式会社
宮城県仙台市若林区卸町東4-1-11
丸ハクリエイト株式会社
東京都江東区富岡2-1-9
HF門前仲町ビルディング4階



株主アンケート

みなさまの



をお聞かせください

<https://koekiku.jp>

アクセスキー 9313JMof

抽選でギフト券を進呈！



サービス運営会社：株式会社プロネクサス

お問い合わせ：コエキク事務局 koekiku@pronexus.co.jp

